

— 醇風地区 —

地域コミュニティ計画



醇風地区まちづくり協議会

目 次

- 1 地域の現状や課題…………… 1
- 2 課題解決のための各専門部の取り組み…………… 3
- 3 期待できる効果…………… 6
- 4 地域コミュニティ計画の評価・改善…………… 7

(資料) 醇風地区まちづくり協議会の組織図

アンケート調査集計結果について

「醇風地区コミュニティ計画」の位置づけ

このたび作成した醇風地区まちづくり協議会の「地域コミュニティ計画」は、醇風地区で生活を共にしている人々が「自分たちのまちは自分たちでつくる」という基本理念のもとに、地域住民が一丸となって取り組む活動目標や内容を定めたものであります。住みよい、地域みんなが安全に、安心して生活できることを目指して活動することが地域コミュニティづくりです。

この計画は、醇風地区のなかにある様々な課題を明らかにし、住民共通の課題として「自助」「共助」「公助」の力を高めながら、これからの望ましい「醇風地区づくり」を推進する基本となるものです。

なお、この計画は実践を重ねていく中で評価を加え、改善をはかるために、毎年見直しをするとともに、地域の皆様への情報提供に努めていきます。

醇風地区 地域コミュニティ計画

1 地域の現状や課題

醇風地区は、鳥取市のシンボル久松山を間近に望み、袋川流域に開けた比較的平坦な地形で、41 町内会、2135 世帯（自治連加入）を有し、市街地では最も広い地区である。

本地区でも世帯数、児童数の大幅な減少は見られないものの年々減少傾向にあり、高齢化は確実に進みつつある。地区の活動を支えているのは60歳以上の高齢者に負う部分が多い。コミュニティ計画作成のためのアンケート調査の回答者が60歳以上の方が全体の55%を占めていることにも表れている。

そのことから、まず若い世代の活動への参加、若い指導者の発掘・育成、世代間交流による地域の活性化と人間関係づくりが急務であるといえよう。ただ、地域住民の地区に対する全体の思いを把握するために「醇風地区（町内）は住みよいと感じていますか」の問いに対しては、住みよい（40%）、まあまあ住みよい（49%）と、9割の方々が住みよいという回答があった。大半は住みよいということではあるが、住みにくいという5%（無回答6%）の方々の、記述内容やアンケートに寄せられた課題を分析・検討してコミュニティ計画作成の基盤としたい。

今回のアンケート調査から見えてきた課題については次のとおりである。

醇風地区でまちづくりを進めるために改めた方がいいと思われること

- ・若い指導者の発掘が必要である（34%）
- ・行事などの参加者が固定化している（24%）
- ・行事・イベントの創意工夫が必要である（17%）し、精選すること
- ・役員（各種団体を含めて）の顔ぶれが同じこと

地域の活動や行事についての周知、参加などについて

○体育会の行事に参加した（24%） 参加しなかった（65%）

《不参加のわけ》・高齢のため (373 人) ・忙しかった (361 人)
・参加したい行事がなかった (157 人) ・行事を知らなかった (122 人)

○醇風地区健康づくり推進協議会の活動について

・よく知っている (12%) ・少し知っている (33%) ・あまり知らない (48%)

○醇風地区健康づくり推進協議会の行事に参加しましたか

・春・秋の歩こう会 (172 人) ・健康に関する講演会 (171 人)
・グランドゴルフ (146 人) 参加したことが無い、無回答 (1258 人)

○醇風地区の消防・防災体制および活動を知っていますか

・知っている (26%) 少し知っている (33%) 知らない (34%) 無回答 (7%)

○災害時の要援護者支援活動について知っていますか

・知っている (15%) ・何となく知っている (25%) ・知らない (43%)
・無回答 (17%)

まちづくり活動で、今後何に力を入れたいと思いますか

- ① 高齢者支援の充実 (715 人)
- ② 防災・防犯対策、体制の整備充実 (605 人)
- ③ 公園・緑地・水辺の整備 (522 人)
- ④ ごみ収集など環境・衛生対策の充実 (468 人)
- ⑤ 子育て支援の充実 (417 人)
- ⑥ 地域コミュニティの育成 (349 人)
- ⑦ 公共交通機関の利便性向上 (326 人)
- ⑧ 地域福祉体制づくりの推進 (312 人)
- ⑨ 交通安全対策の充実 (298 人)
- ⑩ 青少年の健全育成 (296 人)

まちづくりの実施計画（キーワード）と専門部の設立

☆みんなが参加するまちづくり（総務・広報部）

☆安全・安心で、美しい環境のまちづくり（安全・安心・環境部）

☆福祉と健康のまちづくり（福祉・健康部）

☆豊かなふれあいと地域に誇りを持つ人づくり（ふれあい・人づくり部）

実施計画 1

みんなが参加するまちづくり

(担当:総務・広報部)

| 実施期間 | | 重要度 | 事業内容 | 役割分担 |
|------|------|-----|---|------|
| 目安 | 実施年度 | | | |
| 長期 | H22 | AAA | イベントや行事の開催、創意工夫、広報活動 <ul style="list-style-type: none"> ・地域あげてのイベント(運動会、敬老会、ふれあいまつり、防災訓練等)にかかわる広報活動と、参加意欲の喚起を図る。 ・各団体が連携し取り組む。 | 地域 |
| 長期 | H22 | AAA | 若い指導者の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・イベントや行事の参画を通して、地域の一員としての自覚を高める。 ・町内で若者の会の育成を図る。 ・女性の活動の場を広げる。 | 地域 |
| 長期 | H22 | AA | ブロックごとの事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ブロックごとに事業を推進し、リーダーの育成を図るとともに地域の連携意識を高める。(防災訓練、小地域座談会等) | 地域 |

実施計画 2

安心・安全で美しい環境のまちづくり

(担当:安全・安心・環境部)

| 実施期間 | | 重要度 | 事業内容 | 役割分担 |
|------|------|-----|---|------|
| 目安 | 実施年度 | | | |
| 長期 | H22 | AAA | 防犯パトロールの充実と若い世代の参加 <ul style="list-style-type: none"> ・「防犯パトロール中」のプレートを作成、配布する。 | 地域 |

| 実施期間 | | 重要度 | 事業内容 | 役割分担 |
|------|------|-----|---|------|
| 目安 | 実施年度 | | | |
| 長期 | H22 | AA | ブロック単位での防災訓練の実施と啓発 ・車いすの扱いや、毛布一枚で担架をつくる等、より実践的な訓練を行う。 ・袋川の洪水、浸水を想定した防災訓練を実施する。 | 地域 |
| 短期 | H22 | AA | 洪水ハザードマップの活用 ・鳥取市配布のハザードマップを各家庭で有効活用できるよう啓発していく。 | 地域 |

実施計画 3

福祉と健康のまちづくり

(担当:福祉・健康部)

| 実施期間 | | 重要度 | 事業内容 | 役割分担 |
|------|------|-----|--|------|
| 目安 | 実施年度 | | | |
| 長期 | H22 | AAA | 巡回福祉交流会の開催 ・現在、民生委員が実施している「巡回相談会(対象:ひとり暮らし高齢者)」の内容を拡大して、地区の4拠点で年10回程度開催する。 | 地域 |
| 短期 | H22 | AAA | 秋の歩こう会の開催 ・現在、年2回行われている健康づくり推進員会主催の「歩こう会」の1回を、あらゆる人(子ども・障がいのある方・高齢者等)が参加しやすい方法で開催することで、地域の健康づくりと年齢を超えた交流の場とする。 | 地域 |
| 長期 | H22 | AAA | 人権啓発推進協議会町内推進員研修会の開催 ・町内で実施される「小地域懇談会」開催推進のために、年度当初に開催。 ・ブロック単位の懇談会開催。 | 地域 |

実施計画 4

豊かなふれあいと地域に誇りを持つ人づくり

(担当:ふれあい・人づくり部)

| 実施期間 | | 重要度 | 事業内容 | 役割分担 |
|------|------|-----|--|------|
| 目安 | 実施年度 | | | |
| 長期 | H22 | AAA | 袋川桜土手の維持と活用 <ul style="list-style-type: none"> ・桜土手は地域の宝として認識を深め、維持と管理、活用に当たる。 ・花見時期に、鹿野橋～湯所橋間で「桜まつり」を開催する。 ・玄好町公園周辺に公衆トイレを整備する。 | 地域行政 |
| 中期 | H22 | AA | 「鹿野往来」イベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取～鹿野間25キロの旧街道探訪の開催。(マップ作り、宿泊研修等) ・醇風地区中心に交流イベントの演出・実施。 ・醇風地区の歴史の学習。 | 地域 |

3 期待できる効果

醇風地区の「地域コミュニティ計画」に盛り込まれている内容は、これまでも自治連合会や社会福祉協議会などの、各種団体を中心として取り組まれてきたイベント・行事・常時活動などを見直し、さらに発展的に、相互に関連付けたり、連携を強化しようという意図のもとに取り上げられている。

地域コミュニティ計画作成に先立ってアンケート調査実施までに、まちづくり協議会の役員・常任理事が何度となく集まり、アンケートの設問を吟味していくうちに、まちづくりの目指すべき方向性が次第に見えてきた。また、調査の実施により、地区の多くの方から、「アンケートの結果はどうなってる？」といった声が日に日に多く聞かれるようになってきた。地域のまちづくりへの関心が高まってきたためである。それに後押しされるかのように、役員・常任理事を中心に取組んだ集計や、コメントの集約、結果に表されたグラフ等とを関連づけながら考察することによって、地域コミュニティ計画の内容が次第に明確になってきた。

このたび作成した「地域コミュニティ計画」は、完成されたものではない。ただ、この計画を地域の皆様に開示し、理解と協力を得ながら実践することにより、地域あげてのまちづくりが進み、つぎのような効果が期待できると考えている。

- ① 行事・イベント等を通して地域住民の連帯意識が高まる。
- ② 地域（人・自然・文化）のよさを再発見でき、地域に誇りを持ち、地域の発展に尽くそうとする態度や意欲が高まる。
- ③ 小単位での交流を通して情報交換ができ、町内会の活性化により、安全に安心して生活することができる。
- ④ 若い世代の人に次世代を担うという自覚が芽生える。また、その意欲を高めることができる。

4 地域コミュニティ計画の評価・改善

この計画を地域住民に広報し、計画に対する意見を求め、改善のための手がかかりにするとともに、計画の実現のために実施されたそれぞれのイベントや行事について評価を行い、次年度以降の事業がより改善されて実施できるようにする。

《評価の方法》

- ・参加者への聞き取り
- ・アンケート調査（簡潔に記入できるもの）の実施
- ・参加者の言動、行事やイベント中で気付いたことをその都度メモする
- ・反省会（専門部会、役員会など）で、成果や今後の課題、反省事項、引継ぎ事項などを話し合う

《評価の結果等の情報提供》

アンケート調査、反省会、地域から寄せられた声などを「支えあう醇風」「まちづくり協議会だより」などで、広報するとともに、必要に応じて地域住民対象の説明会を開催する。

醇風地区 地域コミュニティ計画

作成日 平成22年9月 1日

作成 醇風地区まちづくり協議会

事務局 鳥取市西町五丁目353-1

醇風地区公民館内

☎ (0857) 26-2568

Fax (0857) 26-2572